

(旧) 県民交流広場 全県オフィシャルホームページ 掲載記事

掲載コンテンツ：リレーコラム

掲載時期 平成 24 年 12 月

テーマ “互いに助け合い、支え合う地域づくり” をめざす

寄稿者 朝来市粟鹿地域自治協議会 会長 岡田 昭治郎

粟鹿地域は、朝来市の東部に位置し、快晴の日には山頂から日本海と六甲山が望める粟鹿山の麓に広がる自然豊かな田園地帯です。また、東は丹波市、北は京都府福知山市に接しており、平成 18 年には、北近畿自動車春日和田山道路山東 I C が整備され、京阪神方面からの但馬の東玄関口として交通の利便性は高まっています。しかしながら、地域では、少子化に伴って平成 23 年 3 月に幼稚園・小学校が廃校になり、高齢化と後継者不足による森林の荒廃や耕作放棄地も目立つようになりました。さらに、地域の中央部を南北に分断する北近畿自動車道路によって、交通や人の流れが変わり、地域住民の一体感が薄れつつあるのではと懸念されています。

そのような中、いま、私たち粟鹿地域自治協議会では、県民交流広場事業（平成 21 年度採択）の取組を機に、自然豊かな“ふるさと”を次代につなぐため、地域住民と一丸となって“互いに助け合い、支え合う地域づくり”をめざしています。

○コミュニティサロン

人口 1,200 人余り、10 集落の高齢化率は 33%を超え、うち 3 集落では 40%を超えています。一人暮らし高齢者も増えつつあり、高齢者の安否確認など地域福祉への取組も大きな課題です。

拠点整備に当たっては、だれでも気軽に立ち寄れる居場所づくりを第一に考え、コミュニティサロンに住民のふれあいの場、憩いの場となる『喫茶“バンビ”』を整備しました。現在、18 名のボランティアスタッフにより週 3 日運営していますが、年間約 3,000 人が訪れ、子育て中の人や趣味を楽しむグループも集うなど、“お茶の間”的と好評です。最近では口コミで地域外の方々にも利用していただけるようになりました。

○多世代ふれあい交流事業

地域には全国有数の式内社である粟鹿神社をはじめ、当勝神社、大同寺など歴史的・文化的財産も数多く、また「西宮市立山東自然の家」や朝来市立の野外活動施設・農村広場などの都市交流拠点も整備されています。

祭事や伝統行事、スポーツ大会、文化祭や環境美化活動などを通して、地域の絆を深めています。中でも県民広場事業を機に、16 年ぶりに復活することができた「粟鹿ふれあい盆踊り大会」や、ふるさとの史跡を探訪する「ふれあいウォーキング」は、今年で 2 回目となり、世代を越え、また都市住民とのふれあいを深める一大行事となっています。

○安全・安心なまちづくり

交通の利便性が高まった反面、犯罪や交通事故の増加が懸念されています。

「粟鹿で住みつづけたい」と思える“安全・安心なまちづくり”をめざして、有志らとともに、子どもや高齢者の見守り活動に取り組むほか、防犯・交通安全講習会なども開催しています。

少子高齢化が進むなか、“ふるさと”の担い手の確保をはじめ、地域課題は山積していますが、広がりつつある交流の輪が地域の活力を育む原動力となり、一つ一つ解決への道につながっていくことを信じて、これからも地域住民と力をあわせて“互いに助け合い、支え合う地域づくり”をめざします。